

Scarless healingへの期待

藤田保健衛生大学医学部形成外科学 吉村 陽子

この度日本創傷治癒学会の理事にご推挙いただきました、藤田保健衛生大学形成外科の吉村陽子と申します。本学会との出会いは、本会がまだ研究会の時代、およそ25年前でした。私の先代教授で現在名誉会員(慶應義塾大学形成外科名誉教授)の中島龍夫先生が、現名誉理事長の北島政樹先生の教え子であったことから、当時外科の先生方中心に行われていた本会に、形成外科医としては先駆的に参加することになりました。もともと私どもの母校である慶應の形成外科では、一般外科の研修を必須としていたため、私自身も本会の創始者である石引久彌先生から直接外科の基本を教えていただいたという縁があります。そして、奇しくも20年前、当教室中島教授を会長として、1991年11月30日に第21回創傷治癒研究会を、名古屋で開催させていただきました。その後多くの形成外科医が本会の会員となり、学会へと発展をみたことは皆様ご承知の通りです。この度第41回日本創傷治癒学会を、2011年12月5日(月)、6日(火)の両日、学会となってからは初めて、名古屋の地で開催させていただくことになりました。詳細についてはニュースレターに掲載されておりますので、ご参照いただきたく存じます。

本会のテーマとしては、「scarless healingに迫る再生医学」をかけました。形成外科領域では、1980年代に多くの胎児手術に関する実験的論文が海外から発表され、「瘢痕を残さない治癒=scarless healing」への期待が高まりました。しかし、マウスでは「再生」の過程を取るように見えた胎児の創傷治癒も、動物種が高等になっていくほど、胎生早期の治療が必要であり、なおかつ母体へのリスクが増加して生産の確率が減ることが判明し、scarless healingを得る手段としての胎児手術は実行不可能となりました。実は当時、ある形成外科関係の国際学会で、メキシコの先生が「妊娠36週の子宮を切開し、胎児の口唇裂を手術した。患児は無事出産し、口唇の瘢痕はほとんどわからなかつたが、6週間後に肺炎で死んだ」という報告をして、フロアから厳しい反論が出ていたことを思い出します。その先生の言い分では、母親自身が口唇口蓋裂で苦しんだため、胎児手術を強く希望されたのだそうですが。その後それが論文となって発表されなかったので、発表者の名前も忘れてしまいました。胎内手術はヒトにおいては利益よりもリスクの方が大きいため、実行不可能ですが、胎



NEWS
LETTER

日本創傷治癒学会
2011.8
No.64

●日本創傷治癒学会事務局

〒160-8582

東京都新宿区信濃町35

慶應義塾大学医学部外科学教室内

tel.03-3351-4774

fax.03-3355-4707

e-mail: info@jswh.com

URL : <http://www.jswh.com>

児における創傷治癒過程の観察から生まれた多くの知見から、瘢痕を伴わない創傷治癒を導くための方法が導かれる可能性が期待されています。

一方では、ES細胞やiPS細胞をはじめとする多分化能を有する幹細胞の発見から、組織再生の可能性が広がり、すでに一部の領域では、免疫抑制を必要としない自分の細胞から、損傷組織の再生治療をおこなうことが実用化されつつあります。

しかし一般的に、特に我が国においては、蓄積された知見が実際の治療のプロセスに乗るために、倫理的、社会的な壁が大きいように思われます。

学会で見聞きすることが、即日患者さんの手許に届くということではなく、素晴らしい発見や発明がテレビや新聞にニュースとして流れても、なおかつそれが一般に普及するには気の遠くなるような年月がかかるのが実情ではないでしょうか？

研究者の自己満足で終わらせず、実際の臨床に寄与するためには、どうすればいいのか。それは研究者の責任の範囲を超えていると考える方もあるでしょうし、研究者のみでは壁を破ることはできないですから、皆の知恵と人脈を集約していく、そのきっかけとしての学会になれれば幸いと考えます。

第41回 日本創傷治癒学会のお知らせ

■大会長：吉村陽子（藤田保健衛生大学医学部形成外科学講座 教授）

■会期：2011年（平成23年）12月5日（月）・6日（火）

■会場：ウインクあいち

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-38

TEL 052-571-6131 会場HP <http://www.winc-aichi.jp/>

■学会事務局

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98

藤田保健衛生大学医学部 形成外科学講座内

TEL 0562-93-2193 FAX 0562-93-2193

E-mail jswh41yy@fujita-hu.ac.jp

事務局長 米田 敬

■学会運営事務局

〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-13 栄第一生命ビルディング8階

株式会社コングレ（担当：広間みゆき） TEL 052-950-3369 FAX 052-950-3370

■第41回日本創傷治癒学会ホームページURL

<http://www.jswh41.umin.jp/>

■演題募集期間（オンラインのみ）

2011年7月20日（水）～8月23日（火）（予定）